

「仕切り直し」のタイトルの説明文が「白紙」の内容になっているとの指摘。

(吉岡の一般質問の原稿より)

(前段の口上)

(前略)・・・資料の冒頭には、大きな文字で「結論」と書いてあって、そこに「義務教育学校の議論は、仕切り直します。」とありました。

しかし、そのタイトルの下に書かれていた説明文は、明らかに「白紙」を意味する内容になっておりました。

すなわち、タイトルと説明文が異なっていたからです。・・・(後略)

次に行きます。

(質問2の口上)、

それでは、全員協議会の資料にある「義務教育学校の議論は、仕切り直します。」というタイトルの下に書かれた説明文には、次のように書かれています。

「一番の課題は、義務教育学校にするかではなく、早来中学校再建です」とあります。

更にこう書いてあります。

「中学校だけを建てるのか、老朽化する小学校も合わせて建てるのかです」と二者択一の考えを述べました。

そして「方向性」と言う「見出し」では、「校舎一体型の小中一貫校を視野に議論する」と書いています。

つまり議論の方向は、「校舎一体型の小中一貫校」の建設だと絞っており、「義務教育学校」の建設は、完全に除外されています。

あくまでも、「校舎一体型の小中一貫校」で止めてあります。

質問2、ここまでの説明を読むと「義務教育学校問題は、「仕切り直し」ではなく、白紙にした」ということになりませんか？ (答弁は、否定しただけ)

質問3、なぜ、こうした混乱が起こったのか、全員協議会の説明資料の文章上の欠陥は、何だと思うか？

(口上) それは「時間軸が抜けている」と言うことだ。

もし、タイトルの「仕切り直し」と今の「白紙説明」を統一して理解するとすれば、次のようになるがどうか？

「義務教育学校に関する議論は、一旦、白紙にする。まず、校舎一体型の小中一貫校」を建設したそのあとであらためて、義務教育学校に関する議論をする。つまり、その時点で「仕切り直す」

こういう理解になりませんか？

(答弁は、否定しただけ)